

平成 30 年度中国・烟台市等訪問に関する報告書

1 日程

- ①公式訪問団：平成 30 年 7 月 8 日（日）～7 月 12 日（木） 4 泊 5 日（7 名）
②民間訪問団： " ～7 月 13 日（金） 5 泊 6 日（13 名）
※後藤会長含む 6 名は、～7 月 14 日（土） 6 泊 7 日

◀烟台市滞在：10 日（火）午前～11 日（水）午後まで▶

2 訪問団 宮古市長以下 30 名（敬称略）

①公式訪問団（10 名）

山本正徳	宮古市長
古舘章秀	宮古市議会 議長
伊藤晃二	宮古市教育委員会 教育長
菊池廣	宮古市産業振興部長
佐々木勝利	宮古市産業振興部水産課長
小向博子	宮古市企画部企画課 主任（宮古市国際交流協会 事務局員）
後藤康文	宮古市国際交流協会 会長、後藤泌尿器科皮膚科医院 院長、 宮古市日中友好協会 会長
後藤まり	後藤会長 令嬢
沼里政彦	株式会社おがよし 代表取締役社長
松野下亮	尼普洛貿易（上海）有限公司 理事長・総経理 ※通訳

※松野下氏は、烟台市内滞在 10 日（火）のみ同行
後藤会長、まりさんは、11 日（水）午後以降②に合流

②民間訪問団（17 名）

菊地幸得	宮古市日中友好協会 副理事長（宮古市国際交流協会 理事）
菊地辰志	宮古市日中友好協会 副理事長
菊地昭一	宮古市日中友好協会 副理事長
齋藤榮三	宮古市日中友好協会 顧問（宮古市国際交流協会 理事）
古舘貞二	宮古市日中友好協会 理事
野邑計	宮古市日中友好協会 会員
吉田恵美子	宮古市日中友好協会 事務局
三河ふか子	宮古市日中友好協会 理事
井田裕基	宮古市日中友好協会 会員（宮古市国際交流協会派遣カメラマン）
小川清耕	株式会社小田島宮古支店 支店長

城 内 美代子	後藤泌尿器科皮膚科医院 看護師
内 藤 順 子	後藤泌尿器科皮膚科医院 看護師
八 木 幸 子	後藤泌尿器科皮膚科医院 管理栄養士
遠 藤 優 季	ニプロ株式会社盛岡営業所 透析チーム
李 向 東	ニプロ株式会社 顧問 ※通訳
周 全	東京腎泌尿器センター大和病院 看護師
紀 文 翔	周看護師 夫君

※李氏は、烟台市内滞在 11 日（水）のみ公式訪問団に同行

③岩手県同行者（3名）

立 柳 敦	岩手県商工労働観光部産業経済交流課 特命課長（中国経済交流）
禹 瑾	岩手県大連経済事務所 所長
陳 錫 金	岩手県大連経済事務所 主任

※立柳特命課長及び陳主任は、大連から北京まで公式訪問団に同行

※禹所長は、大連から 11 日（水）烟台まで公式訪問団に同行

3 目 的

友好協力都市締結 25 周年を記念して、中国・烟台市と今後の一層の友好と親善を深めること。

併せて、中国・大連市を訪問し、水産関係の商流調査、市場や宮古市関連企業等視察により、今後の産業交流の強化を図ること。

《背景》

中国・烟台市とは、1993（平成 5）年 10 月 26 日に友好協力都市を締結。本年は 25 周年を迎える。

25 年の間で、烟台市からは宮古サーモンハーフマラソン大会への出場、教育視察団の訪問、みやこポート&シップ・フェスティバルでの烟台市物産展、合併記念式典などで宮古市を訪れ、宮古市からは、東アジア都市輸入商品商談会開会式への出席、数次にわたる視察などで烟台市を訪れている。

また、烟台業達医院（旧・烟台経済技術開発区医院）と後藤泌尿器科皮膚科医院は、1992（平成 4）年 10 月に友好医院を締結して以来、相互研修等で定期的に訪れており、医療、経済、教育、スポーツ等の交流を深めてきた。

前回の訪問は、2016（平成 26）年 11 月に宮古市国際交流協会設立記念として実施しており、2 年振りの訪問となるもの。

4 訪問先

	月日	内 容
1	7. 8 (日)	国内移動→成田空港発→大連空港着 ①関係者夕食懇談会 ②大連遼漁国際水産品市場視察 〔大連泊〕
2	7. 9 (月)	③岩手県大連経済事務所ブリーフィング ④大連瑞地企業集団視察・昼食会 ⑤大連五環国際労務合作有限公司視察 ⑥盤起工業（大連）有限公司（パンチ工業大連工場）視察 ⑦大連市政府との会見・夕食会 〔大連泊〕
3	7. 10 (火)	大連空港発→烟台空港着 ⑧東方海洋集团有限公司視察 ⑨魯東大学視察 ⑩烟台市政府との会見・夕食会 〔烟台泊〕
4	7. 11 (水)	⑪山東日冷食品有限公司（ニチレイフーズ烟台工場）視察 ⑫烟台業達医院との昼食懇談・烟台業達医院視察・医療協力座談会 烟台空港→北京空港 ⑬北京在住岩手県出身者等との夕食会 〔北京泊〕
5	7. 12 (木)	北京空港発→羽田空港着 国内移動

5 主な話題

《烟台市》

○人的交流の検討

- ・烟台市で実施中の姉妹都市等への市民ツアー事業の宮古市派遣検討
- ・宮古市への国際交流員派遣検討継続
- ・魯東大学への宮古市からの留学生受入検討

《大連市》

○岩手県大連経済事務所とのネットワーク形成

- ・民間主体の経済交流の強化
- ・乾物を中心とした宮古の水産品の取引検討

6 訪問に係る詳細

①【7月8日（日）18:00～20:00：関係者夕食懇親会】

- 企業：大連遼漁国際水産品市場 趙輝総経理、劉賢富総合部部長
大連五環国際労務合作有限公司 李群董事長、李雨澤総経理助理
- 岩手県：立柳産業経済課特命課長、陳主任
- 宮古市：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、小向主任

②【7月8日（日）21:00～22:00：大連遼漁国際水産品市場視察】

- 目的：大連市最大の市場における水産物取扱いの現状把握、商流調査
- 特記事項
 - ・大阪の市場を参考に建設
 - ・24時間営業で、夜12時までに水産物が集まり、12時から朝4時まで競り。その後中国全国に発送。※人口が多くほとんど国内で消費される。
 - ・冷凍品多く、日本の商品も扱っている。
 - ・中国の消費者は日本の水産物を好む。質が良いため。
 - ・黒ナマコ、ホタテ（貝）が欲しい。鮭やタラも出してもらえれば売れる。応じてくれるところがあれば紹介してほしい。
 - ⇒・市場が大きく量が必要なことから、宮古単体は難しい。岩手でまとまっても難しいか。どうしても北海道が強くなってしまう。
 - ・量をまとめることが日本側の課題。
 - ・中国側としても生鮮の取扱いを認めてもらえるようになるとありがたい。

③【7月9日（月）9:10～9:50：岩手県大連経済事務所ブリーフィング】

- 目的：活動状況把握、岩手県と中国との経済交流現状把握、意見交換
- 対応者：禹瑾所長
- 参加者：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、小向主任、立柳課長
- 特記事項
 - ・県産品は主に水産品、南部鉄器を輸出。20億円。
 - ・南部鉄器（鉄瓶）は、中国のお茶文化と相性が良い。ただし、日本と中国では好まれる形状が異なることから、中国向けの商品製作を職人と調整していかなければならない。
 - ・水産品は、岩手県は量がない。高くても質の良いものを欲しいと考える層を狙って売りたいと考えている。

- ・宮古の乾物はどうか。乾物を売り込みたい。ただし、ワカメ以外で。
- ⇒・宮古の乾物を紹介するので、販路拡大について協力をお願いしたい。
- ・麺類も生麺ではなく、乾麺が良い。

④【7月9日（月）11:00～12:00：大連瑞地（リッチ）企業集団有限公司視察】

- 目的：(株)おがよしとの経済交流現状把握、意見交換
- 対応者：鄧恩堂董事長、鄭重總經理（大連湾魚市有限公司）
- 参加者：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、小向主任、立柳課長、陳主任
- 特記事項
 - ・1994年に設立し、7つの支社を保有。
 - ・欧米、ロシア、香港と取引がある。(株)おがよしとは2004年から取引（助宗タラ）。日本の水産品は中国で人気。
 - ・一般市民の健康のための水産品を、ということで、自社ブランドの研究開発、加工、販売を一体的に行っている。
 - ・鮭の取扱いは、中国国内で一位。尊敬できる生き物と考えている。
 - ・日本水産（ニッスイ）をモデルに経営。
- ⇒（沼里社長）
 - ・人工知能（AI）活用の研究を県立大学とともに始めている。
 - ⇒（鄧董事長）ぜひ視察したい。日本の技術は参考になる。
- 昼食懇談あり

⑤【7月9日（月）13:30～14:30：大連五環国際労働合作有限公司視察】

- 目的：日本への技能実習生派遣の現状把握、意見交換
- 対応者：李群董事長ほか
- 参加者：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、小向主任、立柳課長、陳主任
- 特記事項
 - ・元々経済技術開発区内企業向けの資材（工具や文房具等）販売が中心。
 - ・現在、人材派遣先は主に日本。
 - ・実習生は、4か月間の研修を実施。技能実習のほか、日本語や日本の生活（文化や風習）を学んでいる。
 - ・(株)おがよしの実習生5名を派遣中。

⑥【7月9日（月）15:00～15:30：盤起工業（大連）有限公司（パンチ工業大連工場）視察】

- 目的：市関連企業の現状把握、意見交換
- 対応者：川崎丈二董事長・総経理、岡田秀和創造本部副総経理
- 参加者：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、小向主任、立柳課長、陳主任
- 特記事項
 - ・1990年10月設立。※宮古工場は1990年4月。
 - ・自動車金型用部品等各種部品を製造。
 - ・瓦房店工場で作成した部品が、北上や宮古工場に運ばれ、加工されている。
 - ・川崎董事長は、釜石出身。宮古工場で9年間の勤務経験あり。
 - ・岡田副総経理は、宮古出身。

⑦【7月9日（月）17:00～17:30：大連市政府との会見】

- 大連市：温雪瓊副市长、鞠振偉教育局副局长、劉国志商務局副局长、劉舫外事弁公室副主任、景詩博※通訳
- 岩手県：立柳課長、禹所長、陳主任※通訳
- 宮古市：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、小向主任
- 特記事項
 - ・大連は、中日の友好の窓。日本とのつながりが多い。
 - ・宮古の鮭やタラは大連市民も食べられるようになってきている。(株)おがよしに感謝。
 - ・大連はナマコやアワビが獲れ、「大連のナマコ」はブランド。
 - ・両市の水産交流が活発になることに期待。
 - ・盤起工業は、大連で大きく発展してきた。支援したい。
 - ・大連と烟台は遠くない。大連にも来てほしい。(海路100km、陸路1,000km以上)
 - ・大連市民を宮古に行かせたい。
- 記念品交換
- 夕食懇談あり

⑧【7月10日（火）14:00～15:00：東方海洋集团有限公司視察】

○目的：水産加工業の取り組み状況調査

○対応者：唐積玉副社長

○参加者：山本市長、後藤会長、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、
小向主任、立柳課長、禹所長、陳主任

○特記事項

- ・ナマコ、サーモン等の陸上・海上の養殖に取り組む。
- ・10億元（約163億円）を投資して養殖できるような環境に海を再生している。（20年かけて作っている）
- ・環境に配慮しながら、人工岩礁の設置や海藻を繁茂させる取り組みを行い主にナマコ養殖を行っている。
- ・そのほかにも、ホタテ、昆布、ワカメの養殖を行っている。
- ・昆布は10種類のうち5種類を育てており、クローン技術を使用している。
- ・中国科学院と共同でナマコの生産技術の開発を行っている。
- ・烟台市の沿岸域に5か所の養殖場を持っている。すべての場所に監視カメラを設置しており、東方海洋集团有限公司で一元管理している。
- ・サバ13,000tを日本に輸出している。（日本の消費量の1/10）
- ・主にローソン、セブンイレブンで使用している。（サバの塩焼き）

⑨【7月10日（火）15:30～16:30：魯東大学外国語学院視察】

○目的：日本語教育現状調査

○対応者：陳宗利院長ほか

○参加者：山本市長、後藤会長、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、
小向主任、立柳課長、禹所長、陳主任

○特記事項

- ・外国語学院（外国語学部）は、魯東大学の国際化の窓口。
 - ・烟台師範大学から総合大学に移行。
 - ・世界90の大学等と教育提携し、30か国から1,200人の留学生が来ている。
 - ・現在、日本からの留学生は6名。修士1名、専科生1名、語学留学4名。
 - ・日本の提携大学は、千葉大学、二松学舎大学。
 - ・中国語や中国文化を学習したいという留学生を受け入れたい。
- （烟台市人民政府外事僑務弁公室・王興生副主任補足）
- ・1989年に別府市から留学生を受け入れたことがある。現在はいない。
 - ・宮古で中国に留学したい子どもがいれば、烟台市政府としても補助金（奨学金）等支援したい。

⑩【7月10日（火）18:00～18:30：烟台市政府との会見】

○烟台市：張永霞市長、張代令副市長、王克文秘書長、尹國文外事僑務弁公室主任、
包信勇衛生和計画生育委員会主任、張祖峽対外友好協会会長、
鞠建偉烟台業達医院院長

○岩手県：立柳課長、禹所長

○宮古市：山本市長、古舘議長、後藤会長、まりさん、伊藤教育長、沼里社長、
菊池部長、松野下氏※通訳

○特記事項

- ・25年交流が続いてきたことをうれしく思う。
- ・今後も幅広い交流を続け、互いに発展できるようにしていきたい。

○記念品交換

○夕食懇談あり

○その他

- ・烟台市では、友好協力都市等への市民ツアー事業（市民号のようなもの）を実施中。宮古へ行くことを検討したいとのこと。（張副市長、王副主任）
- ・外事僑務弁公室日本語通訳実習生・劉敏さんは、H30 国際交流員候補。4月時点で大学在学中（4年でもうすぐ卒業）のため、派遣できないこととなり「辞退」という形となったとのこと。7月に烟台大学を卒業し、9月から大連の大学の大学院に進学予定。大学院在学中は休学も可能なので、機会があれば再度応募したいとのこと。

⑪【7月11日（水）9:00～11:15：山東日冷食品有限公司（ニチレイフーズ烟台工場）視察】

○目的：水産加工の現状調査

○対応者：古泉稔総経理ほか

○参加者：山本市長、古舘議長、後藤会長、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、
佐々木課長、小向主任、立柳課長、禹所長、陳主任

○特記事項

- ・工場稼働から24年。烟台経済技術開発区ができてすぐのころから。
- ・鶏肉、野菜、水産物の多種を扱える工場であること、価格は他より高いが、細かいロットに対応できることなどが強み。
- ・日本90%（ニチレイフーズ100%）、中国国内10%。日本の各港には、4日間で到着（冷凍コンテナ）。
- ・野菜は契約栽培。生産体制をチェックしている。鶏肉は養鶏場・と殺場にスタッフを派遣しチェックしている。

- ・職業訓練学校の卒業資格を取得できる仕組みや社員旅行などにより、従業員定着率の高い（10年超え）会社となっている。
- ・従業員提案により作業の効率化が図られている。

⑫【7月11日（水）13:00～15:00：烟台業達医院視察・医療協力座談会】

- 烟台市開發区：管理委員会・孫賦欣副主任、衛生計画生育局・孫培樂局長、
科学技術知的財産局 丁慧局長
- 烟台市人民政府：外事僑務弁公室 王興生副主任、盛宁育アジア・アフリカ課長、
王凝日本語通訳、劉敏日本語通訳実習生
- 烟台業達医院：鞠建偉院長、牟永恒副院长、王飛副院长、趙錦波副院长、
張道斌総会計師、程合福元院長、高惜春元血液浄化科看護師長
- 後藤院長「烟台開發区医学特別貢献賞」受賞
- 記念品交換
- 昼食懇談あり

⑬【7月11日（水）19:45～21:45：北京在住岩手県出身者等との夕食会】

- 北京側：早川 真さん（共同通信社中国総局次長 岩手にて勤務経験あり）
早川永江さん（上記の奥様。田野畑村出身）
佐々木こころさん
（岩手大学から清華大学に留学中。田野畑村・宮古高校出身）
菊池信太郎さん
（在中華人民共和国日本国大使館一等書記官。宮古市出身）
- 宮古市：山本市長、古舘議長、伊藤教育長、沼里社長、菊池部長、佐々木課長、
小向主任、立柳課長、陳主任

7 その他

《民間訪問団行程》

	月日	内 容
1	7.8 (日)	国内移動→成田空港発→大連空港着 〔大連泊〕
2	7.9 (月)	○大連市内視察 〔大連泊〕
3	7.10 (火)	大連空港発→烟台空港着 ○烟台市内視察 ⑩烟台市政府との会見・夕食会 〔烟台泊〕
4	7.11 (水)	○烟台市内視察 ⑫烟台業達医院との昼食懇談・烟台業達医院視察・医療協力座談会 烟台空港→大連空港 〔大連泊〕
5	7.12 (木)	○旅順口区内視察 〔大連泊〕
6	7.13 (金)	大連空港発→成田空港着 国内移動

《宮古市国際交流協会の取り組み》

- ・井田カメラマンの派遣により、市民向け烟台市周知映像を制作

8 資料

烟台市概況

1. 概況 (2016 年)

- (1) 面積：1 万 3,746.5 平方キロメートル
- (2) 人口：706.4 万人
- (3) 行政区画：4 区（芝罘区、福山区、牟平区、萊山区）7 市（龍口市、海陽市、蓬萊市、萊州市、萊陽市、招遠市、栖霞市）1 県（長島県）

2. 日本との関係

- (1) 在留邦人数：321 名（2016 年 10 月現在、在留届ベース）
- (2) 日系企業数：362 社（2016 年 10 月現在、山東省商務庁統計ベース）
- (3) 友好都市：大分県別府市（1985 年締結）、岩手県宮古市（1993 年締結）

（在青島日本国総領事館 HP 抜粋）

=====

大連市概況

1. 概況 (2017 年)

- (1) 面積：1 万 2,574 平方キロメートル
- (2) 人口：595.6 万人
- (3) 管轄地区：7 区（中山区、西崗区、沙河口区、甘井子区、旅順口区、金州区、普通蘭店区）2 市（瓦房店市、庄河市）1 県（長海県）

2. 日本との関係

- (1) 長期滞在邦人数：5,721 人（2015 年 10 月現在）
- (2) 大連の地方自治体事務所：神奈川県、北九州市、新潟県、富山県、岩手県、宮城県（青森ビジネスサポートセンター、秋田県貿易促進協会）
- (3) 友好都市：
 - （大連市）福岡県北九州市（1979 年締結）、京都府舞鶴市（1982 年締結）
 - （西崗区）岩手県花巻市（2008 年締結） 等

（在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所 HP 抜粋）